

No.13	高度化		
氏名	岡村 謙一	生命科学部	4回生
1. 出願時のテーマ・目標を具体的に記述してください。			
<p>テーマ：中国地方のSDGsへの取り組みを取材・発信し、SDGsネットワークを実現する 目標：昨年度のくさこんプロジェクトの経験から中国地方にて、潜在的にSDGsの取り組みをしている人や団体に対して取材・編集・記事化する。</p>			
2. 上述のテーマ・目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。			
<p>【7月～9月】 ・インタビュー先調査 4月～6月で調査したインタビュー先を事前学習として購入する資料を参考にしながらSDGs・地域課題解決・イノベーションという目線で研究を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で対面での活動が認められなかった為、中国地方から広島県限定に変更し活動を行った。 決定したのは以下の4つである。 ・7月26日(日)17:00～18:30 @Zoom 「令和の時代から見る被爆者の実態」 参加学生：5名</p>			
5. 今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。			
<p>今後の活動展開、展望については、活動範囲を広島県だけではなく中国地方全体に広げることである。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で対面での活動が制限されていたこともあり、中国地方の様々な都道府県に伺いインタビューを行うことが出来なかった。よって今回達成出来なかった中国地方での活動やネットワークづくりを行うことが次年度の目標である。</p>			
6. 今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。			
<p>今回の取り組みでは様々なキャリアを持った方々とお話させて頂く機会が多かった。そのことから私自身の進路においても非常に有意義な影響を受けることとなった。来年度から私は大学院に進学することになるが、その後の進路についてはディスカッションを行った方々の影響で絶賛悩み中である。「将来的に人の役に立つ」と言っても選択肢は多岐に渡ることが改めて実感した一年間になったと思う。</p>			
7. 今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会・周囲）への貢献・還元の点で記述してください。			
<p>今回私は広島県でSDGsとは謳っていないが社会貢献分野で活動をされている方とオンラインディスカッションを行ったり、そこで得た知見をSDGs交流会にて大学生に共有し、話し合うことでネットワーク醸成することを行った。結果として、呼んだ講師の方は4人、参加者の大学生は合計で57名である。少なくとも57名の大学生と講師の4名の方とのネットワーク醸成は行われたのではないかと考えられる。今後は様子の一般公開や文字化を行いたいと感じている。今回交流会を開き、広島県の活動を紹介することによって広島県での潜在的SDGs活動が認知され、活動している方の活動範囲が広がったり、社会的優遇を受けやすくなることに期待したい。</p>			

3. 個人の成長の軌跡3-1. 取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください。

3-2. グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。

一人で思い悩むのではなく、中間報告会や仲間に相談することによって客観的な視点や知見を得ることが出来た。そのことにより、活動においてもやり方を柔軟に変化させることに成功し、モチベーションが上がった。

3-3. “今回（今年度）の取り組み”と“正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？

私の所属している生命情報学科では、通信情報機器についての基本的な使い方やZoomなどのソフトウェアを学ぶことができた。このことによって、活動に用いる際にもスムーズに難なく進めることが出来た。

4. 本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか5段階で評価してください。（該当ナンバーに○）
 また、併せて評価の理由も書いてください。評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】

① 目標の達成度	3
<理由> テーマや目標としては、「中国地方のSDGsへの取り組みを取材・発信し、SDGsネットワークを実現する」というものであった。SDGs交流会や成果報告会を通じて学びを提供する機会を創出することは出来たが、文章として提供することは出来なかった為。	
② 計画の達成度	4
<理由> 計画はある程度沿って行うことが出来たと考えられる。しかし、新型コロナウイルス感染症によりオフラインでの取材は失敗に終わりオンラインでの活動範囲を狭めた活動となってしまったという変更が起こったから。	
③ 取り組みを通じた自己成長	5
<理由> この奨学金を活用し、自分自身かなり成長出来たのではないと思う。一人で悩むのではなく様々な大人の方や仲間に助けを求めたりすることの重要性や計画性の大切さを改めて実感することが出来たと考えられる。	
10. 今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。	
① 身についた力	ストレス・コントロール
② ①で記述した力について具体的に説明してください	活動を行う中で今年度は昨年度にまして困難にぶつかることや変更せざるを得ないことなどが多かった。そんな中で捉え方を変えいかに有効的にリソースを活用するということを考え、行動出来たから。
③ なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け・促進させた要因を記載してください	融通が全く効かない新型コロナウイルス感染症に対して活動がままならず悔しい思いをしたことが多々あったが、仲間や大人の方に相談することで前向きに捉え、行動することが出来た。